認定看護師の活動について

市民の皆様へ

手洗い・マスクの着用で感染防止に努めましょう。

新型コロナウイルス感染症対策活動について

感染管理認定看護師　渡邉　正美

2019年末に「中国武漢で原因不明の呼吸器感染症が確認」と報道されてから、もう少しで2年になろうとしています。

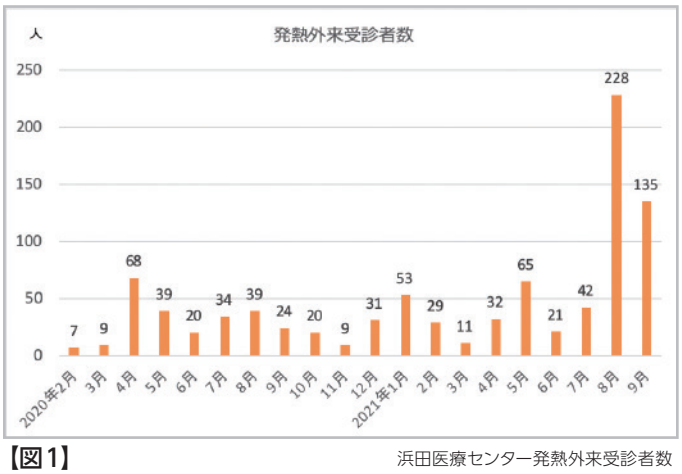
当院では2020年1月から発熱外来の運用を開始し、来院者の問診、検査、重症度の判断など行ってきました。

また感染対策チームでは、発熱外来受診の検査手順の作成と院内各部署への周知、必要な感染防止対策に係る物品の確保と管理を、変化する情勢に合わせながら対応してきました。さらに感染管理認定看護師として、院内各部署の感染管理に関する相談対応や情報発信に努めています。

第1波の流行時には、流通の問題から感染症予防に必要な個人防護具の不足があり、サージカルマスクの使用制限や、手作りのガウンを作成しながら大変な時期を院内一丸となって乗り越えました。

また、昨年の年末年始の発熱外来でのドライブスルー受診体制に向けて、職員全力をあげて訓練も行いました。発熱外来には916人受診しています。**【図1（9月30日現在）】**

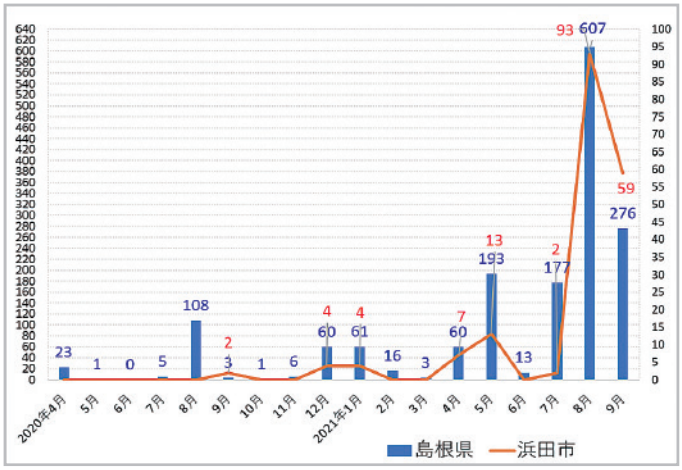
島根県では2020年の4月から感染者が報告され、浜田市内では2020年9月に1例目の報告があり、入院受け入れを開始しました。



【図1】　浜田医療センター発熱外来受診者数

県内の感染状況の特徴としてはクラスターの発生と共に急激に報告件数が増加しています。また今年の7月以降は火力発電所のクラスターとお盆休み等による移動者が重なり、県内も浜田市もこれまでにない感染者数となり、発熱外来受診者も多くなりました。**【図2】**

10月に入り、緊急事態宣言は解除されましたが、インフルエンザの流行シーズンにもなります。目まぐるしく変わる感染状況の中で、院内感染を起こさないようにこれからも活動していきたいと思います。



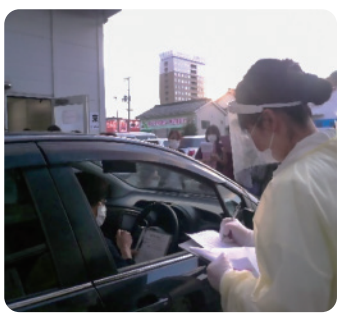
【図2】　島根県と浜田市のCOVID-19報告者

手作りガウンの着用

発熱外来

診察室

検体採取風景



ドライブスルー検査の練習風景